

■欧州：欧州委員会、低炭素技術開発のための大幅な追加投資を提案

欧州委員会は2009年10月7日、低炭素技術の開発にむけたEUのエネルギー戦略 (SET-Plan) を公表した。この計画では2020年までに低炭素技術開発向けに、官民両セクターで500億ユーロ (約6兆5,000億円) の追加投資が必要であるとしており、EU加盟国に今後10年間で対象分野の研究開発投資を、現在の年間 30億ユーロ (約3,900億円) から年間80億ユーロ (約1兆400億円) に引き上げることを呼びかけている。なお、対象分野はバイオエネルギー、CCS (CO₂の回収・貯留技術)、電力系統、風力、太陽光、原子力利用の6つである。今回の発表を受けて、一部の環境団体やNGOはこの計画に懐疑的な見方をしているものの、産業界はこの計画が低炭素社会に移行するための積極的な一歩になると評価している。